

歯周病とは

歯周病は、口の中の細菌が引き起こす、歯の周りの炎症性の慢性疾患です。

歯と歯肉が接する部分には、健康な状態で1～2mm程度の溝があり、歯肉の接着がはがれて深くなつた状態を“歯周ポケット”といいます。

歯周病が進行し、歯周ポケットがさらに深くなると、歯を支えている骨が徐々に失われていき、最終的には歯を失うことになります。



歯周ポケットの内面には
かいよう
潰瘍（傷口）ができています

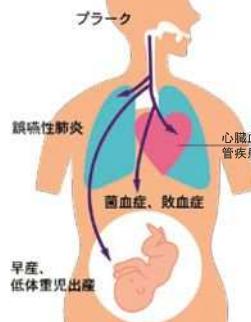
潰瘍（傷口）の
大きさをイメージ
すると…



全部の歯に歯周ポケットがある場合
手の平と同じくらいのサイズの潰瘍
(傷口)があることになり、そこが
細菌の生体への入り口になってしまいます。



トピックス② 歯周病と全身疾患



口の中の細菌が
全身に影響します!

血管や気管を通して体の
中に取り込まれ、全身に
様々な影響を及ぼします。

糖尿病を始めとした
全身疾患との関連が
明らかになってきています。

定期的な歯科検診を 受けましょう

かかりつけ歯科医を持つと こんなことがあります！



○あなたの健康状態や治療経過を把握
し、適切なアドバイスを受けられます。

○子どもの頃から介護が必要な高齢になる
まで、あなたの歯と口の健康管理を
長期的にサポートしてもらえます。



セルフケア

毎日の歯みがきが重要です。
鏡を見ながらケアしましょう。

↑
連携プレーが大事！



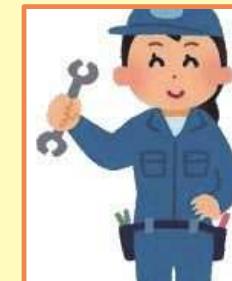
プロフェッショナルケア

あなたが苦手な場所や
歯周ポケットの内面を
器械を使ってきれいにします。

働く世代の歯周病予防



歯と口の健康管理



お住まいの市町村が実施する
“歯周病検診”もご利用ください。

※市町村により対象年齢が異なります。



保健医療局健康医務部健康対策課（2023年度版）



働きざかりのあなたへ…歯を守るためにのポイント

歯を失う前の
“今”が大切！



歯みがきは、歯周病の
予防と改善に欠かせません。
特に寝る前はていねいに。



たばこを吸う人は、
歯周病が進行しやすく、
歯を失う確率が高くなります。



歯と歯の間の細菌は、
つまようじでは取れません。
歯間清掃のアドバイスを受けましょう。



歯周病は自覚症状が乏しく、
自分で気づきにくい病気です。
歯肉からの出血や腫れ、
痛みなどがあったらすぐ受診を！



歯周病と糖尿病は、
双方向に影響をしあうこと
が注目されています。



ストレスは心身をむしばみ、
歯周病も悪化させます。
ストレス社会を乗り切るために
趣味などによる気分転換を！

進行した歯周病患者の口腔
(68歳 女性)



一度歯周病が進行すると
なかなか止まらず後悔することに…

10年後、20年後の
人生を選ぶのは、
“今”的なあなたです

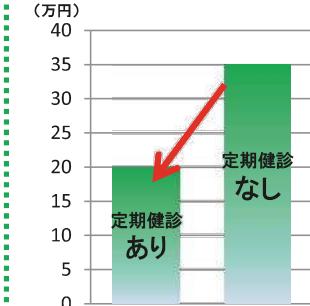


【写真提供】
愛知学院大学歯学部歯周病学講座 三谷章雄教授

トピックス① 定期的な歯科受診と医療費

49歳以降で
医療費は下回る！

1人あたりの医療費
(65歳・1年間)



歯科医院で年2回以上、
定期的に歯石を取るなど
の行動をしている人では、
そうでない人と比べて、
医療費（医科・歯科）が
低く、高齢になるほどそ
の差が広がる傾向がある
ことが報告されています。

出典：トヨタ関連部品健康保険組合と
豊田加茂歯科医師会による調査結果
(2009年)

65歳では、
年間15万円以上の
差が見られました！